

2020年2月12日

各 位

アートsparkホールディングス株式会社
 代表取締役社長 野崎 慎也
 (コード番号: 3663 東証第2部)
 問合せ先: 取締役 伊藤 賢
 電話番号: 03-6820-9590

法人税等調整額の計上及び2019年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2019年2月15日に公表いたしました2019年12月期通期連結業績予想の修正につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2019平成30年12月期 通期連結業績予想の修正 (2019年1月1日～2019年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,174	256	204	70	10.39
実績(B)	5,381	241	230	241	※ 29.55
増減額(B-A)	207	△15	26	171	
増減率	4.0%	△5.9%	12.7%	244.3%	
(参考)前期実績 (2018年12月期)	3,789	374	357	334	49.18

※2019年12月期期末の発行済株式総数にて算出しております。

2. 修正の理由

売上高につきましては、クリエイターサポート事業における売上が当初予想より上振れしたことにより5,381百万円となりました。営業利益につきましては、Candera GmbHののれん等の会計処理の確定により、当初の予想よりも、のれん等が約205百万円増加、その結果、のれん等の償却費も約31百万円増加し、約350百万円となったこと等により、241百万円となりました。経常利益につきましては、支払利息及び為替差損が当初見込みより減少したことにより230百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、後述の税効果適用により増加となりました。

3. 法人税等調整額の計上について

上記ののれん等の会計処理の確定に伴い、のれんの資産配分を見直し、当該差異に法定実効税率を乗じたうえで、連結財務諸表において繰延税金負債及び法人税等調整額を94百万円計上いたしました。

また、併せて海外子会社を含めグループ全体で税効果会計の評価見直しを行った結果、当初見積りより76百万円利益方向へ増加いたしました。

以上